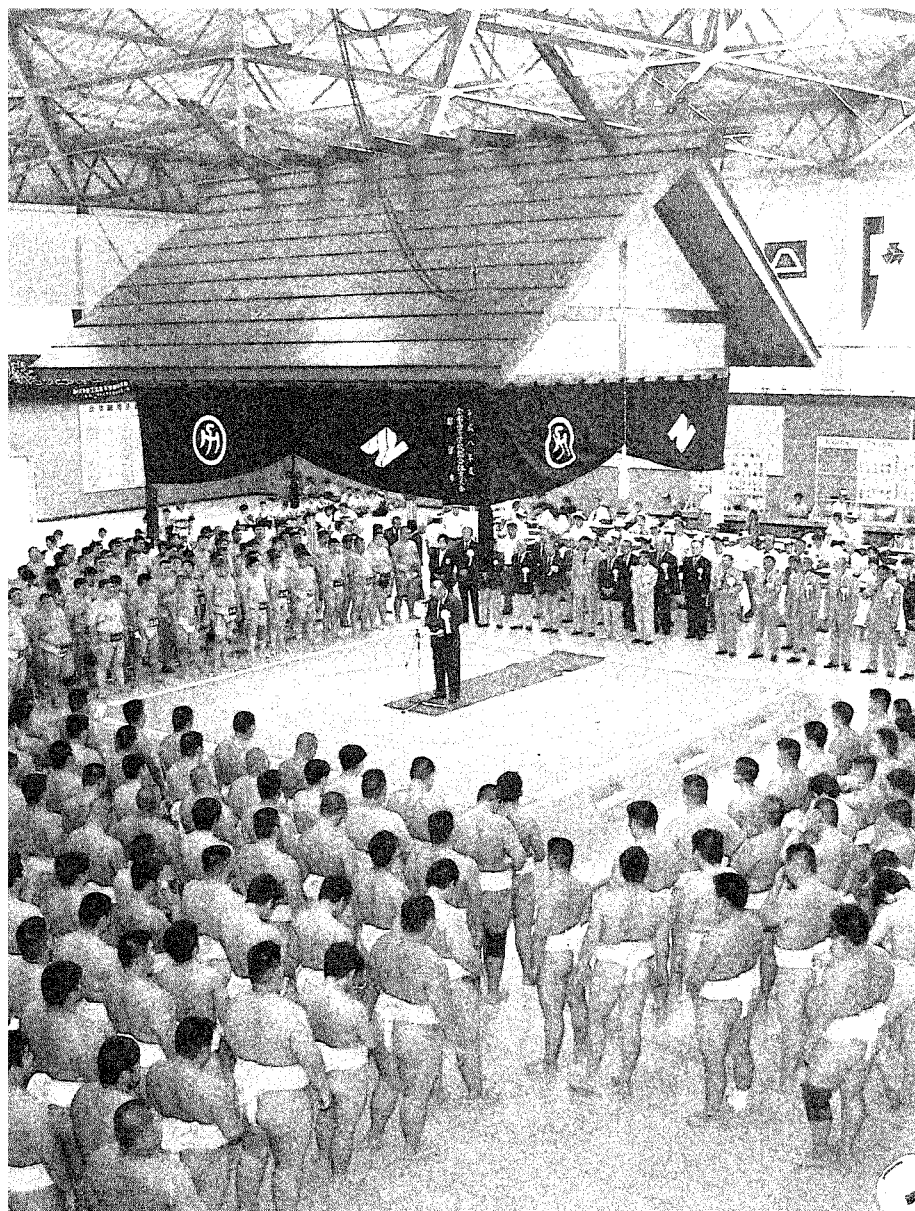


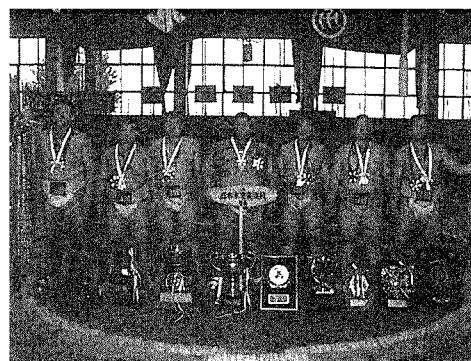


全国の高校生力士 夏をかけぬけ ふれあいの輪を ひろげる

全国各地から多数の高校生選手を迎え『かけぬけろ 夏風をきれ山梨で』のスローガンのもと熱戦が繰り広げられた平成八年度全国高等学校総合体育大会が大成のうちに終了しました。

都留市では、八月二日から四日までの三日間、都留市民総合体育館を会場として第七十四回全国高等学校相撲選手権大会が開催されました。若さあふれる熱戦が展開され多くの観客が見守るなか、気迫に満ちた名勝負の数々は、深い感銘と感動を与えてくれました。

本大会は、関係各位のご協力により無事終了することができ、心から感謝申し上げます。特に地元谷村工業高校生および桂高校生は、一人一役の合言葉のもと、献身的な働きで大会を支えてくれました。その責任を果たした充実感と、青春の貴重な体験に満足していることと思います。



団体戦優勝を遂げた青森県
三本木農業高等学校

谷村工主将
渡辺(健)君の
選手宣誓



都留市実行委員会に感謝状の贈呈

さて、山梨県代表地元谷村工業高校は、八月二日、団体予選において、宮崎県代表の鵬翔高校と対戦し四対一で勝利。続く三日の団体予選二回戦では、島根県代表の隠岐水産高校と対戦し五対〇で勝ち三回戦に進み、奈良県代表御所工業高校を五対〇でくだし予選第二位の成績でみごと団体優秀三十二校に入り、四日の決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメント戦では、惜しくも二対三で岡山県代表の岡山理科大学附属高校に敗れましたが、観客からは、地元谷村工業高校の健闘に惜しみない声援があり、また、選手一人ひとりは、来年の京都大会に向けての意欲が感じられました。